

# クリエイティブディレクション

## 佐藤利樹 [www.yello.co.jp](http://www.yello.co.jp)

空間デザインからロゴデザインをはじめとするグラフィックデザインを佐藤利樹氏がディレクション。これまでのリノベーションの無機質なイメージとは一線を画す、ブルーに統一された空間が印象的なデザインとなっています。一転、白を基調とした部屋にはリバービューのバスを設置。リラックスをテーマにしています。80年代のオフィスビルであった建物を、建築時のポストモダンな空気を取り入れつつ、世界中のトレンドをミックスしたスタイルで「現在の東京らしさ」を表現しました。



### DESIGN POINT



#### ポストモダン

余裕のある時代には、デザインに遊びがありました。正に80年代日本はそういう空気でした。それは、リノベーションしたこのビルが建てられた年代です。2020年オリンピックを前に、遊びのあるポストモダンデザインが、再び日本の未来を明るくすると信じて、その要素を散りばめております。オリジナルで制作した部屋番号表示はその一つです。



#### グラフィック

ロゴをはじめとするオリジナルフォントは、漢字の「川」にならない、3本の線によって構成されています。また、波状の線が加わることで、ポストモダンな印象を与えています。また、各所に使用されるロゴマークである江戸小紋柄もすべて3本の線によって構成されています。



#### 川とデザイン

ブルーを基調としてデザインは、川をイメージしました。廊下はまるで水の中に深く潜るように、奥に行くにつれて濃くなる青のグラデーションです。また、2名と4名部屋に分けて2種類製作された壁紙にも川の要素を潜ませています。4名部屋は、一見洋風に見えますが、葛飾北斎の浮世絵を組み合わせた柄です。実は、ここに描かれたすべての風景は、前を流れる隅田川を描いたもの。江戸時代と現代の二つの時代の隅田川の対比に東京の歴史を感じられます。2名部屋は、実際に隅田川の水を用いて描いた水彩のブルーを江戸小紋で抜いて柄にしています。このことにより生まれる柔らかな雰囲気は、川の浮遊感をイメージしております。左にあります部屋番号表記も厚みのある手作りのガラスを用いることにより下から照らす光が揺らぎ、水面を思わせます。



### 佐藤利樹

東京生まれ。日本大学経済学部卒。合同会社Yello CEO。  
ライフスタイルエディトリアル ショップ「CIBONE」のビジュアル・イベント企画を担当。  
独立後、レストランの内装やアパレルブランドのエキシビション空間演出を手がける一方、プロダクトデザインをスタート。  
KDDI iida LSPより充電機「chargy」発売。同プロジェクトでELLE DECO YOUNG TARENT受賞。  
毎年採れたてのオーガニックコットンで作る違いを愉しむ今年のタオル「コットンヌーボー」(IKEUCHI ORGANIC・グッドデザイン賞受賞)、リサイクル「RECYCLE STANDARD」、創業1585年の扇子を中心とした和ブランド「西川庄六商店」等のディレクションが進行中。  
また、世界的アパレル企業「H&M」ショッパー及びノベリティーデザイン、「萬屋書店」シーズングラフィック、「第一ホテル」チャペルデザイン等、ジャンルを越えて様々なプロジェクトで東京をデザインする。  
自社にて、世界初物々交換で借りられる部屋「XCHANGE APARTMENTS KYOTO」、ファッションブランドのルックブックを集めたポータルサイト「le LOOKSATAND」の運営もしている。